

# 言の葉

～和歌山県言語聴覚士会 機関紙～

第19号

2019年8月

会長挨拶	1	本紹介	8
総会報告	2	施設紹介	9
各局活動報告	3	STの仕事って楽しい!?	10
総会・講演会に参加して	3	議事録要約	11
新人会員挨拶	4	編集後記	14

## 会長挨拶



会長 琴の浦リハビリテーションセンター 山崎 良一

令和元年6月9日(日)に開催された定時社員総会には多くの会員に出席していただき誠にありがとうございました。また、すべての議案に対しご承認いただきありがとうございました。県士会は今年で設立から20年目を迎えることができました。これも会員のご理解とご協力があったことと思いますので、この場を借りて感謝申し上げます。

県士会はここ数年前より、公的機関や他団体との連携や合同事業など対外的な活動が増えて参りました。各市町村の地域ケア会議や介護予防事業、和歌山県病院協会へのコメディカル団体としての加盟、健康フェアなど民間企業主催のイベントやJRAT和歌山の結成および主要団体としての加盟、そして当士会として最大の事業となる失語症者向け意思疎通支援者養成研修会など、年々活動範囲が広がっており、今後も増えていくと思います。言語聴覚士という専門職としての社会的役割と責任を考えると、このような活動を推進していかなければなりません。特に、失語症者向け意思疎通支援者養成研修会は失語症の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるようサポートする方を養成する研修会で、地域包括ケアシステムを構築する1つの役割を担っております。本来はSTが失語症の方をサポートしなければいけないのですが、STだけではマンパワーが足りないため、一般の方にも協力して頂く事業となっております。これらの事業を推進していくためには会員皆様のお力添えが必要になってきますので、引き続き、県士会運営へのご理解とご協力をお願いいたします。

末筆ですが、この1年が皆様にとって良い年になりますようお祈りしております。

# 総 会 報 告

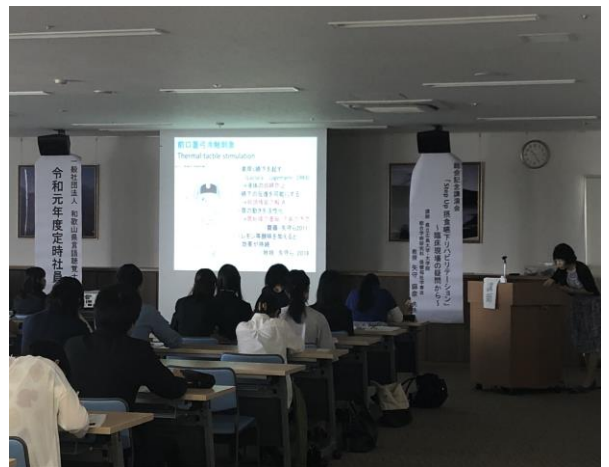
事務局理事 和歌山労災病院 岩本 吉城

令和元年6月9日（日）和歌山労災病院 災害研修棟 4F 多目的共用室にて一般社団法人 和歌山県言語聴覚士会 令和元年度定時社員総会・講演会が開催された。

10：00～12：20 講演会「Step Up 摂食嚥下リハビリテーション-臨床現場の疑問から-」と題して、県立広島大学・大学院 総合学術研究科 保健福祉学専攻教授であられる 矢守麻奈先生にご講演いただいた。

14：17～ 令和元年度定時社員総会が開催された。司会 鍵野遥 会員により開会宣言があり、続いて 山崎良一 会長より挨拶が行われた。次に定足数報告があり、令和元年度議決権のある正会員 162 名、そのうち会場出席者 50 名、委任出席者 41 名、議決権行使書提出者 33 名、合計 124 名で総会は適法に成立した旨が宣言された。議長に 古久保良 会員が選出され、書記に 山本駿平 会員、森岡高史 会員が任命され、総会が進行した。第1号議案 平成30年度事業報告に関する件は、各担当局理事より報告があり、賛成多数で承認された。第2号議案 平成30年度決算報告に関する件は、中武夕真 理事より報告がなされた後、西本千津 監事より「平成31年4月6日に監査を行った結果、会計は適正に処理しているものと認める。」と報告があり、賛成多数で承認された。第3号議案 令和元年度事業予定に関する件は、各担当局理事より説明があり、賛成多数により承認された。第4号議案 令和元年度予算案に関する件は、中武夕真 理事より説明がなされ、賛成多数で承認された。第5号議案 その他に関する件は、山崎良一 会長より説明がなされ、賛成多数により承認された。

15：28 議長は本日の議事が終了した旨を述べ、閉会を宣言した。



## 各局活動報告

### <社会局より>

社会局理事 公立那賀病院 静 智弘

社会局を担当することになりました公立那賀病院の静です。社会局の主な仕事は大きく2つあります。まず1つ目。当会は昨年度から和歌山県病院協会に参入させて頂いております。毎年秋に開催される学術大会では、今までもSTの演題発表はありましたが、当会は協賛では無く他団体にセッション運営をお願いしておりました。今年度からはSTのセッションは当局が担当することになる予定です。会員の先生方には毎年、演題発表、参加をして頂いておりますが、引き続き多くの演題発表と活発な質疑応答で会場を盛り上げて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。2つ目は、ST啓発目的でのブース出展を各イベントで行っております。毎年参加しているのは「人権フェスタ（毎年11月開催）」です。PT・OT会と共同で出展し、参加者体験型スタンプラリー形式をとっており、STブースではTMT類似課題（注意課題）を体験して頂きました。さらに、昨年3月にはリビング和歌山主催の「みんなの健康フェア」に参加し、反復唾液嚥下検査、簡易聴力検査、ST関連相談など行い、多くの県民の皆様に参加して頂きました。このようなイベントに参加・参画したい方は、ぜひ！お声かけ下さい。又、各地区でST啓発が出来るようなイベントがあればご連絡下さい。（理事会で承認されれば）県土会ゴロ入りポロシャツ、のぼりを持って駆けつけます。 社会局：wakayama-st\_syakai@hotmail.co.jp

## 総会・講演会に参加して

和歌山つくし医療福祉センター 中森 麻美

6月9日に総会・講演会に参加致しました。講演会は「摂食嚥下リハビリテーション-臨床現場の疑問から-」という題で矢守先生からお話し頂きました。喫食量・チームアプローチに関する研究では数値を出して結果を説明して下さい、とても分かりやすい内容でした。最後に話して頂いた「STにできること／求められていること」はSTとして常に心に留めておく事であり、改めて頑張っていかなばという気持ちになりました。貴重な講演を聴くことが出来て良かったです。

総会では、各局からの報告や議案内容をお聴き致しました。各役職の先生方が日頃、和歌山県言語聴覚士会の為に尽力して下さいとのだなど本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

講演会・総会・懇親会と準備や運営をされた先生方、本当にありがとうございました。参加された皆様もお疲れ様でした。

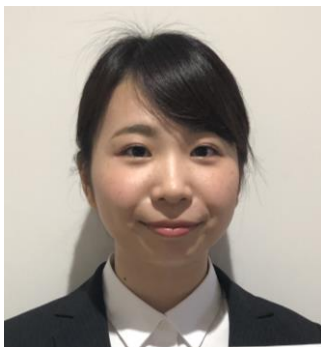
## 中江病院 小嶋 里奈

講習会では、矢守麻奈先生に摂食嚥下リハビリテーションー臨床現場の疑問からーをご講演頂きました。ご講演の内容は常日頃、臨床場で私が頭を悩ませていること、もどかしく思っている物事が非常に多く、この中で激しく頷きながらとても興味深く聴かせて頂きました。実際の症例や統計データを使用しての説明はとても分かり易く、普段悩みながら行っているリハビリに対しデータでの裏付けを得ることができ、安心することが出来ました。教えて頂いたことを患者様に還元出来るようにこれからも日々業務に励みたいと思います。

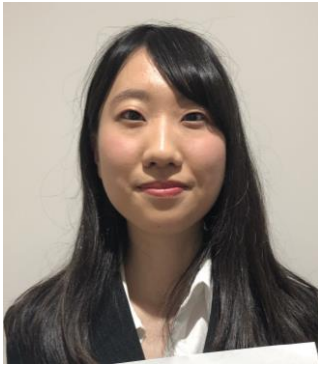


## 新入会員挨拶

### 中谷病院 大丸 帆奈



今年度より、和歌山県言語聴覚士会に入会致しました大丸帆奈と申します。おまると呼ばれています。私は食べることと話すことが好きで、それが1番のストレス解消法だと思っていました。そんな中でこの職業に出会って、摂食嚥下や高次脳といった機能が障害された患者様の手助けになりたいと思い、言語聴覚士を目指すことにしました。また、私の地元は大阪ですが、実習でお世話になった先生方と一緒に働きたいと思い、中谷病院に入職させて頂きました。中谷病院は職種や年齢を越えて仲が良く、本当に患者様の立場に立ったチームでのリハビリが提供出来るところが魅力だと感じています。言語聴覚士として働きだしてまだ2ヶ月で、益々勉強に励まなければならないと痛感しているところです。しかし、どんな患者様でも訓練の中で一度は声を上げて笑って頂けるよう、楽しいリハビリを提供できるよう、心掛けています。ちなみに、私の好きな食べ物はお餅で、1年中食べています。また、趣味は旅行で、国内や国外に関わらず思い立ったら即行動で色々な所へ出かけています。まだまだ未熟なところが多くありますが、どうぞご指導の程宜しく願います。



**貴志川リハビリテーション病院 谷坂 莉央**

今年の4月から貴志川リハビリテーション病院に入職しました、谷坂莉央と申します。

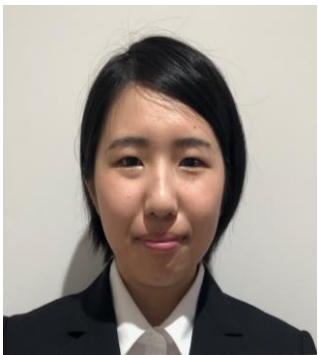
現在は患者様と接し、リハビリに励む毎日が勉強の連続です。まだまだ未熟で悩むことも多いですが、一つひとつの知識や技術を確実に身につけていきたいと思っております。

何よりも患者様に寄り添い、患者様の為になるリハビリを提供出来る言語聴覚士になりたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



**貴志川リハビリテーション病院 橋詰 晏奈**

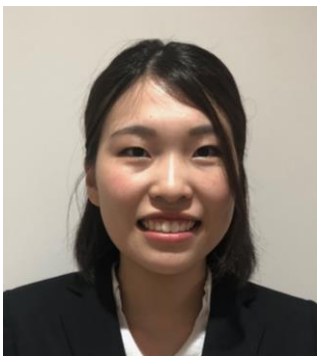
この4月より、貴志川リハビリテーション病院に入職いたしました、橋詰晏奈と申します。入職して3か月が経ち、患者様との関わりの中で、その方の人生に大きく関わるといふ言語聴覚士としての責任を感じると共に、日々多くのことを学ばせて頂いています。患者様やご家族様のことを一番に考え、より良いリハビリを提供できるよう、さらに知識を身につけていきたいと思っております。まだまだ至らない点もありますが、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



**医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院 川口 愛**

今年度より、新人として角谷リハビリテーション病院に入職致しました、言語聴覚士の川口愛と申します。

入職してから3ヶ月が経ち、臨床場面を経験し、学びたいと思うことが日々増えております。私は大阪に住んでいますが、当院で成人と小児の両方のリハビリテーションをしていることに魅力を感じ、入職致しました。これから、言語聴覚士として、患者様を笑顔に出来るリハビリテーションとなるよう日々学んでいきたいと思っております。これからどうぞ宜しくお願い致します。



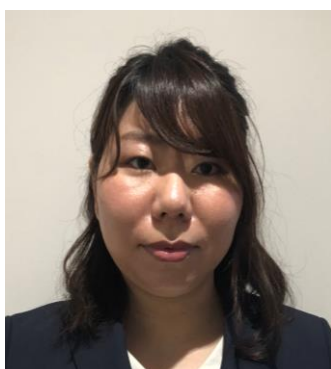
**琴の浦リハビリテーションセンター 門 由佳子**

この春より琴の浦リハビリテーションセンターで勤務しております、門由佳子と申します。入職して数ヶ月経過し、少しずつではありますが社会人としての生活に慣れてきました。1人でも多くの患者様に寄り添い、地域医療に貢献できるよう努めて参りたいと思っておりますのでご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。



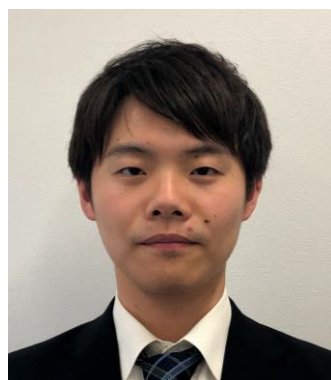
#### 海南医療センター 上西 亜弥

はじめまして。4月から海南医療センターで勤務しております、上西亜弥と申します。至らない点多々ありますが、患者様に寄り添い「先生に出会えて良かった」と思ってもらえる言語聴覚士になれるよう日々精進して参ります。これからは様々な勉強会に参加させて頂き、知識だけではなく多角的な視点で患者様のことを考えられるよう頑張っていきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。



#### 和歌山つくし医療・福祉センター 谷口 智香

和歌山つくし医療・福祉センターの谷口智香と申します。STとしては5年目になります。12月まで、京都の総合病院にて急性期、回復期、慢性期の患者様を対象にリハビリ業務に従事しておりました。小児のリハビリにも少し関わらせて頂いておりましたが、もっとスペシャリストになりたいという気持ちが強くなり転職を考え、ご縁があり現職に至ります。また1から勉強するつもりで頑張ろうと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

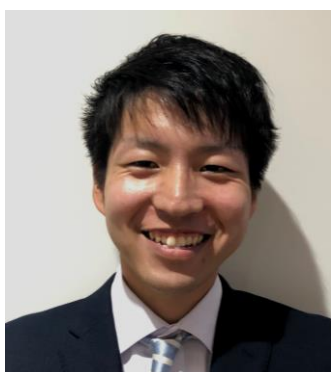


#### 和歌山つくし医療・福祉センター 阪井 友哉

初めまして。今年の4月から和歌山つくし医療・福祉センターに入職致しました阪井友哉と申します。

入職して3ヶ月が経ち、実際に患者様と接することで、まだまだ足りないことが多いと日々痛感しております。

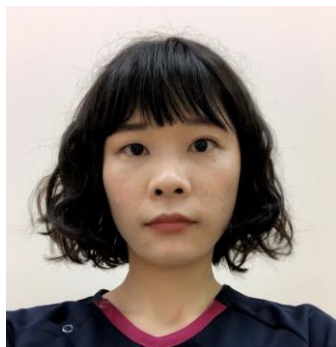
少しでも患者様が充実した生活を送れるように、役立つことが出来る言語聴覚士になれるよう精進して参ります。まだまだ知識不足ですが、今後ともご指導の程よろしくお願ひ致します。



#### 白浜はまゆう病院 江川 遥平

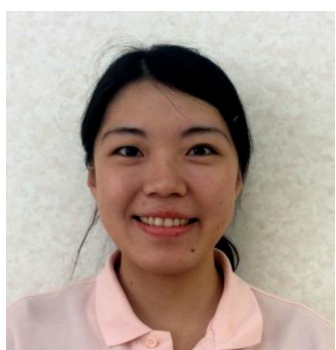
4月から白浜はまゆう病院に入職させて頂いた江川遥平です。言語聴覚士としても社会人としても、1年目という事もあり様々な面で未熟さがありますが、学会や研修に積極的に参加して自分の技術と知識を向上させていきたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

**南紀医療福祉センター 蒲田 郁子**



4月から南紀医療福祉センターで勤務させて頂いております、蒲田と申します。この度、県士会に入会させて頂きました。初めてのことで、慣れないことが多くあり、日々勉強だと感じています。一人でも多くの利用者様のお役に立てるよう頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

**愛徳医療福祉センター 高木 志穂**



4月から新しく愛徳医療福祉センター 愛徳整肢園 訓練部で言語聴覚士として働くことになりました。一般企業で働いた後に言語聴覚士の資格を取りました。もともと大阪出身で、和歌山に住むのは初めてです。和歌山のいいところを少しずつ知っていきたいと思っています。未熟者ではありますが、よろしくお願い致します。

新人会員の皆様素敵なコメントありがとうございました！  
今後県士会での活躍を楽しみにしております。  
下記の写真は懇親会での自己紹介の様子です。



## 本紹介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった」「参考になった」など感じた本をご紹介します。

白浜はまゆう病院 吉富 あおい

題 名：syunkon カフェごはんシリーズ

著 者：山本ゆり

出版社：宝島社

料理コラムニストの山本ゆりさんをご存知でしょうか。最近はテレビ番組でも活躍されており、ツイッターでもよく話題になっているので知ってらっしゃる方も多いのではないかと思います。ゆりさんは「どこにでもある材料で、誰にでもできる料理」をモットーにしており、その通りゆりさんのレシピは複雑な材料を使わず、工程も簡単で分かり易いので料理のハードルが低く、とても作り易いです。わたしは元々レシピ本を読むのが好きで、よく買ってきては眺めていました。なかなか実際作るまでには至らないことも多かったのですが、ゆりさんの本は「これ作ってみよう」と実行に移せるレシピがほとんどで、また一度作ったものはリピートすることが多いです。そしてこの本の特徴は、なんといっても読み物として面白いこと。ゆりさんのコメントが随所に散りばめられており、レシピの合間に挟まるコラムやユニークな書き方のレシピ（あみだくじレシピ、サスペンス風レシピなど）、毎回笑わされます。

最後にわたしが良く作るメニューを挙げてます。

- ・レンジで作るキーマカレー（syunkon カフェごはん 4）：このレシピに出会ってからフライパンでカレーを作ることがなくなりました。
  - ・鶏ときのこのクリーム煮（syunkon カフェごはん 6）：生クリームがいらないので思い立った時に作れます。
  - ・鶏手羽と大根のこってり煮：味がめちゃくちゃ染みっていておいしいです。
- などなど、沢山あります。是非読んで、作ってみてください。

\*次回は紀南病院 神保先生にお願いしています。





## 施設紹介

### 河西田村病院



当院は和歌山市紀ノ川の北西部に位置する病院です。病床数 108 床（一般病床、回復期病床、身障者病床）を有し、地域医療に貢献する事を目的としています。リハビリテーション科には若いスタッフが多く、理学療法士 18 名（内非常勤勤務 1 名）、作業療法士 5 名、言語聴覚士 4 名（内非常勤勤務 2 名）リハビリ助手 3 名（非常勤）、計 30 名（2019 年現在）が在籍しております。ワンフロアのリハビリ室が特徴で、職種の垣根なく患者様の状態を随時把握することが可能です。地域に密着したリハビリテーションが提供できるようにスタッフ一同努力しております。県士会を通じて、皆様方と交流出来ることを楽しみにしています。

### 西岡病院

当院は昭和 56 年に有田川町に開院し、一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟の 120 床の病院です。平成 27 年 7 月に新棟の建築、既存の病棟の改修が終わり、それに伴い回復期リハビリテーション病棟が設立されました。言語療法室も新棟に移動となり、とても明るくきれいな環境の中、日々の業務に励んでおります。現在 ST は常勤 2 名、非常勤 2 名で、入院・外来で成人のリハビリテーションを実施しています。今年の 6 月から、小児担当 ST により少しづつ外来での小児リハビリテーションも開始しています。住民から支持され、信頼される良質な医療を提供し、地域と周辺社会の健康福祉の向上を目指しております。



## STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

橋本市民病院 片山 季也

当院で働き始めて7年が経過しました。以前勤務していたケアミックスの病院から当院へ移動した時は、急性期病院ならではの業務の忙しさ、患者様の多様な疾患・症状に対する評価及び訓練、日々変化する患者様の全身状態の把握、病棟や他職種とのコミュニケーションなどに追われ毎日目まぐるしく過ぎていったように思います。本年度よりST部門も4人体制となり、業務にも少しゆとりを持ちながら取り組めるようになってきました。

「STの仕事って楽しい?」というテーマを頂き、改めて自分を振り返り考えてみました。私が楽しいと感じるのは、元気になった患者様と家族様の笑顔に会えることです。当院から自宅退院された方はもちろんのこと、回復期病院へ転院しその後、外来診察で再度当院に戻ってこられた際に待合室やリハ室に来て「先生！退院したよ。元気になったで」と気さくに声をかけてくれることです。無事社会復帰された方や様々な社会支援を受けながら在宅生活へ戻られた方など様々ですが、元気になられて笑顔を見せに来てくれるのが一番の喜びです。急性期という限られた時間の中ですが、患者様と真摯に向き合い、沢山の笑顔に出会えるように引き続き臨床に取り組んでいきたいと思えます。



# 議事録要約

## 令和元年度第一回理事会

開催日：H31年4月25日（木）19:00～22:30

場 所：琴の浦リハビリテーションセンター3F会議室

参加理事 山崎 天野 古久保 岩本 静 水田 中武 本田 青木

### <報告事項>

#### ○山崎会長

H31年3月10日：近畿府県土会合同会議（滋賀）

H31年3月12日：地域包括（名草、雑賀）講習会 講師

H31年3月24日：中前かずのり決起大会（アバローム紀の国）来賓

H31年4月10日：JRAT和歌山会議（和歌山ろうさい病院）

H31年5月17日：和歌山県老人保健施設協会創立30周年記念式典祝賀会

#### ○事務局

31年度定時総会について

進捗状況と議案書、シナリオ確認について

#### ○社会局

和歌山県病院協会シンポジウム

第3回みんなの健康フェア参加

#### ○学術局

H31年3月16日 新人研修会開催

2019年度事業予定について

新人研修会、ミニ奨励研修会、勉強会、小児研修会開催予定

#### ○地域包括ケアシステム推進局

地域リハ活動支援事業について

和歌山市、海南市の市担当者変更

地域支援事業について

失語症者向け意思疎通支援者養成事業

H31年4月8日（月）山崎会長、尾藤先生が和歌山県障害福祉課 辻氏と打ち合わせ

R1年7月20日より事業開始予定

#### ○広報局

ニューズレター36号発行

#### ○財務局

H31年度監査報告

R1年度予算について

#### ○教育局

H31年3月3日 協会専門講座・基礎講座開催

< 検討事項 >

○山崎会長

令和元年度総会について、総会シナリオ、議長など選定

○古久保副会長

災害リハチームの立ち上げを承認。

○事務局

今年度の事業方針について

失語症支援者養成事業を支援。予算の逼迫への対応。来年度に局の再編を行う

○地域包括ケアシステム推進局

地域ケア会議の報酬と地域包括ケアシステム推進局の活動費について、

○広報局

広報誌などを8月から電子化しHPに掲載する

○財務局

財政逼迫に対して財政に関する会議を開催し検討する。

**第二回理事会（財政関連会議）**

開催日：令和元年5月22日（水）19:00~22:00

場所：愛徳医療センター2F

参加理事：山崎 天野 古久保 岩本 中武

< 財務報告 >

中武理事：財務状況と見直しについて

< 検討事項 >

- ①今年度予算について、年度内に補正も認める。
- ②収入増加に向けて、会費の自動振込みを推奨する。
- ③支出圧縮について、印刷物を減らし電子化する。交通費などを見直し。

**第三回理事会**

開催日：R1年7月25日（木）19:15~22:30

場 所：琴の浦リハビリテーションセンター2F 言語室

出席理事 山崎 天野 古久保 岩本 中武 土井 青木

< 報告事項 >

○山崎会長

5月17日 和歌山県老人保健施設協会30周年記念式典出席。

6月27日 日本言語聴覚士協会全国会長会議出席。（大分）

7月13日 みらい医療推進センター十周年記念式典出席

○古久保副会長

7月17日 和歌山 JRAT 会議出席

○事務局 岩本理事

令和元年度定時総会・講演会、懇親会報告

○社会局 静理事

7月23日（火）和歌山県病院協会第24回学術大会 プログラム委員会 静出席

○学術局 水田理事

小児部会勉強会 7月7日（日） 場所：南紀医療福祉センター

講師：中島知夏子先生（摂食コミュニケーション・ネットワーク）

○地域包括ケアシステム推進局 水田理事

和歌山市自立支援型地域ケア会議、WAKAYAMA つれもて健康体操派遣状況

失語症者向け意思疎通支援者養成事業について：7月20日より開始。受講者10名

4月27・28日 訪問リハビリテーション地域リーダー研修会

6月29日 日本言語聴覚士障害学会発表（水田 前島）

○広報局

8月より広報誌をHPに掲載

○保険局

今年度施設名簿更新予定

<検討事項>

○山崎会長

西脇・加太地区から健康講習会講師派遣について

高次脳機能障害およびその関連する地域支援ネットワーク研修会講師派遣について

○天野副会長

外部講師に関する旅費規程について

○古久保副会長

JIMTEF 初期災害研修派遣者について

○事務局

来年度総会開催場所について、那賀病院を予定

会員情報システム構築について、業者に依頼

○社会局

みんなの健康フェア出展について

和歌山県病院協会学術大会座長選定について

○学術局

総会時に学術集会開催について

○地域包括ケアシステム推進局

失語症者向け意思疎通支援事業指導者養成について

○財務局

県士会インスタグラム、フェイスブック作成について

○地域局

南部マーリングリストの管理について

[編集後記]

今年度も引き続き和歌山県言語聴覚士会広報局を担当させていただきます。本誌より機関紙を PDF 化し県士会ホームページに掲載となります。パソコン上でも見て分かり易いような編集・配置等考慮し作成させていただきます。

また、今回も本機関紙発行に際しまして多くのご寄稿、ご協力を頂きありがとうございました。何かと至らない点もあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)

発 行：和歌山県言語聴覚士会  
会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人  
琴の浦リハビリテーションセンター  
〒640-0014 和歌山市毛見 1451  
TEL：073-444-3141

編 集：広報局  
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地  
TEL：0739-43-6200  
FAX：0739-43-7891